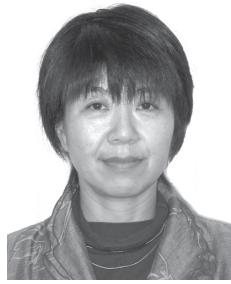


# 委員会のごまき

## 総務

### 行政組織機構決まる！



総務常任委員長  
坂本 あや

し押さえ、20年度設置した債権管理機構への移管効果があったからです。また、今期は普通交付税が地方再生対策費として重点配分されたので、地方交付税主体で、2.97%伸びました。町の借金も、中央保育所、佐賀保育所の建設事業等が増え、膨らんでいます。

今議会には、22年度の行政組織の提案がありました。合併後4年を経過し、行政組織機構改革検討委員会の答申を受け、大方本庁、佐賀支所とし、課の統廃合、産業推進室の設置を行う提案でした。支所推進が充実できるか、産業推進室を置く必要があるとの意見が出ましたが、賛成多数で可決されました。その他、情報基盤整備事業に関する条例、定住自立圏形成協定が四万十市、宿毛市と結ばれることや、一般会計の補正が提案されました。

20年度決算では、一般財源の歳入で町税の滞納繰越分が減少しました。これは、悪質な滞納者への処分や差

歳出では、土佐くろしお鉄道の運営に、関係市町村で1億円の赤字補てん、固定資産税の免除をしていますが、21年度には基金が5千万円となる見込みで、22年度以降には2億円の赤字が出るのではとの報告でした。公共交通バス2社にも、運営補助金の支出があり、なくてはならない両公共交通網ですが、かなり厳しい運営状況にあります。

一般寄付金とふるさと納税合わせで、866万5千円をいただきました。ピッチングマシン、ピッチャープレート、グラウンドならし等を購入させていただき、町民の皆様の要望に心えるよう使わせていただきました。

## 育生 教厚

### 20年度決算 総体的には問題なし



教育厚生常任委員長  
宮地 葉子

■20年度の決算  
大きく問題になるような内容はありませんでした。

#### 〈一般会計〉

(※P4を参照)  
不用額の中で、教育費、約1千6万円は耐震検査の入札減等によるものです。民生費では、約1176万円が保育所の工事に伴う設計変更等により生じたものです。ゴミの予算で約346万円の不用額は、ゴミの減量によると、コークスが値上がりして補正を組んだが、予算程に値上がりせず必要がなかったためです。ちなみにゴミが減量したのは、人口の減少が一番の理由だそうです。

#### 〈特別会計〉

「宮川奨学資金」  
貸付金額は約2166万円で、高校生19人、大学生47人が利用しています。昨今の経済状況を反映して、滞納額は19年度より増額していました。「住宅新築資金等貸付事業」

この会計は町が貸している資金を返してもらっただけですが、まだ約8千万円以上残高があり、その対応が毎年問題となっています。

その他、「国保」や「介護保険」などを含めて8つの会計が付託されましたが、特別な問題はありませんでした。

#### ＊後期高齢者医療の条例が一部改正

保険料支払いが滞った場合、延滞金の条例が一部変わります。延滞金2千円以上、3ヶ月以上の場合、年14.6%の延滞金が付きます。今までは「2千円」・「3ヶ月」と具体的な数字はありませんでしたが、数字を明記したことで、延滞金がより鮮明化したことになりました。ちなみに保険料が年金天引きではない高齢者は、月1万5千円以下の年金額です。